

平成27年度 第3回小山町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 平成28年2月1日(月) 午後1時30分開会
午後2時10分閉会
- 2 開催場所 小山町役場 4階会議室
- 3 出席委員 込山正秀町長、天野文子教育長、山口今朝治教育委員、齋藤広人教育委員、稲恵子教育委員、米山芳子教育委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席した事務局職員等
杉澤晃芳理事、小野学企画総務部長、田代順泰教育部長、秋月千宏住民福祉部長、池谷精市経済建設部長、長田忠典町長戦略課長、湯山博一こども育成課長、大庭和広生涯学習課長、渡辺徹町長戦略課長補佐、岩瀬貴雅町長戦略課主任
- 6 傍聴人の人数 0人
- 7 報道機関者の人数 1人
- 8 会議次第
 - 1 町長あいさつ
 - 2 教育長あいさつ
 - 3 会議事項
 - (1) 小山町教育大綱について
 - (2) 小山町教育振興基本計画の策定状況について
 - (3) その他
 - 4 今後の開催予定
- 9 会 議
 - 1 町長あいさつ
本日の会議事項は、「小山町教育大綱について」と「小山町教育振興基本計画の策定状況について」の2点である。
1点目の教育大綱については、総合教育会議での協議を踏まえ、町長である私が決定することとされている。
前回の総合教育会議において、教育大綱の案を了承いただいたので、その後、町議会に報告の上、パブリックコメントを実施した。
パブリックコメントの実施結果について報告し、最終的に教育大綱を決定

したいと考えている。

2点目は、小山町教育振興基本計画の策定状況について、教育振興基本計画は教育大綱を具現化していくため大変重要な計画であり、現在、教育委員会で策定中だが、現時点での概要について報告していただく。

2 教育長あいさつ

平成27年度もあと僅かとなってしまった。今年は、箱根駅伝で小山町出身の子どもの活躍が放映され素晴らしい年明けとなった。

今、各学校では卒業式、中学校では4日から始まる私立学校の受験に向けて頑張っている。学校教職員、幼稚園保育園の人事もこれから山場を迎える。子どもたちにとって、学校や園の運営がより良くできるよう、また、町民の皆様が生き生きと活性化できるよう尽力していく。

小山町では、平成26年に北郷こども園が開園してから2年たち、開園を機会に幼児教育、保育に力を注いできた。まだ課題は山積みだが、県の教育委員会も（仮称）幼児教育推進室を委員会内に設置するなど、心強く思っている。幼児期にどんな教育を受け、どんな愛情を受けたかによって、その後の人生に大きな影響を与えるという書物も読んでいます。大きく揺れ動く時代だが、子供たちがどんな時代でも考えたり行動できる生きる力を持ち、自ら切り開いていく、より素敵で人生を作っていく小山の子を育てていきたいと考えている。

3 会議事項 議事進行は、座長である町長にお願いする。

(1) 小山町教育大綱について

座長（町長）：教育大綱（案）に係るパブリックコメントの結果について、事務局から説明させる。

杉澤理事が資料1「パブリックコメントの実施結果」に基づき説明を行った。

座長（町長）：次に教育大綱について今一度、その内容について事務局から説明させる。

杉澤理事が資料2「小山町教育大綱（案）」に基づき説明を行った。

座長（町長）：事務局から説明のあった「教育大綱（案）」を成案とさせていただきたいと思うが、よろしいか。

全委員：（異議無し。）

座長（町長）：小山町教育大綱について、原案のとおり決定する。

(2) 小山町教育振興基本計画の策定状況について

田代教育部長が「小山町教育振興基本計画の策定状況について」に基づき説明を行った。

座長（町長）：御質問等はあるか。

座長（町長）：計画期間について、教育大綱は27年から31年、総合計画後期計画も28年から31年になっているが、教育振興基本計画は何故10年としたのか。

田代教育部長：教育大綱を踏まえた位置づけをしている。32年に教育大綱が見直され、それに伴い教育基本計画の見直しもあり得ると考えたが、国や県も10年のスパンとなっているため、ただし書きで整理をしたいと考えている。

座長（町長）：上位計画があつての計画だと思う。32年から総合計画や大綱の中身が変わる。先行して教育基本計画を作るのはいかがなものかと思うが。

田代教育部長：国の教育施策は、10年単位で決まるので、そこを勘案して10年としている。

座長（町長）：大綱の変更が見えないのに、教育基本計画で先に作るのはいかがなものかと思うので、検討していただきたい。

座長（町長）：大綱の方針を踏まえて教育基本計画を作成したと思うが、本計画にどのように反映しているか。

田代教育部長：教育大綱では、6つの基本方針が示されている。教育振興基本計画では、基本方針が大綱で示されているので、4つにまとめた。各分野に影響してくるため、大綱の基本方針を4つの視点としてまとめている。

座長（町長）：PDCAサイクルを回していく上で、目標設定が必要になるが、具体的な数値目標等を盛り込む予定はあるのか。

田代教育部長：全国的に見て成果目標を記載しているものと記載していないところがある。教育分野を詳細に記載する必要があり、成果目標をどこまで設定できるか検討したが、設定しきれない部分があったり、教育委員会評価を実施し、毎年公表しなければならない規定があることから、本計画については、具体的な目標を掲げないこととした。

座長（町長）：基本目標を定めなければ意味が無いのではないかと。アクションプランや実施計画を作るかはわからないが、数値目標が無ければPDCAサイクルが回らないのではないかと。

田代教育部長：総合計画の実施計画の目標値や、事務事業評価、教育委員会評価で、PDCAを回せると考えている。

座長（町長）：総合計画では、ここまで細かく記載していない。
載せてあることをいかに実行していくかを記載しなければ、絵に描いた餅になってしまう。

このままでは、PDCA サイクルを回せないのではな
いかと思う。

教育長：実施計画は、毎年見直しをしているため、それらで
評価がでることから、チェックは可能と考えている。
また、10年という計画期間は、目先の変化にとらわ
れず、将来を見据えた形でやっていきたいということ。

座長（町長）：総合計画のように前期、後期でやってもらえば良い
と思うが、PDCA サイクルを回し、しっかりチェック
をして修正すべきは修正し、見直しをしていくことは
やってもらいたい。

田代教育部長：絵に描いた餅にならないよう、しっかりやっていく。

（3）その他

座長（町長）：全体を通じて意見はあるか。

全委員：（特に無し）

4 今後の予定（案）について

町長戦略課長が、資料3に基づき説明を行った。